

研究会

社会主義文化における 記憶と記念の比較研究

プログラム

13:30~13:40 趣旨説明

13:40~14:10 「社会主義の記憶：中国の革命記念碑の事例を中心に」
高山陽子（亜細亜大学）

14:15~14:45 「記念碑の存在論：ポスト・ソヴィエト・メモリースケープを望んで」
平松潤奈（金沢大学）

15:00~15:30 「1965年5月9日の「黙祷」放送：ソ連における戦没者追悼行事の創造」
半谷史郎（愛知県立大学）

15:35~16:05 「ポーランドのカトリック巡礼地が表象する darkness：碑、蠟人形、地獄めぐり」
加藤久子（国学院大学）

16:20~18:00 総合討論

参加自由・事前予約不要

2017年7月29日(土)13:30~17:30

会場

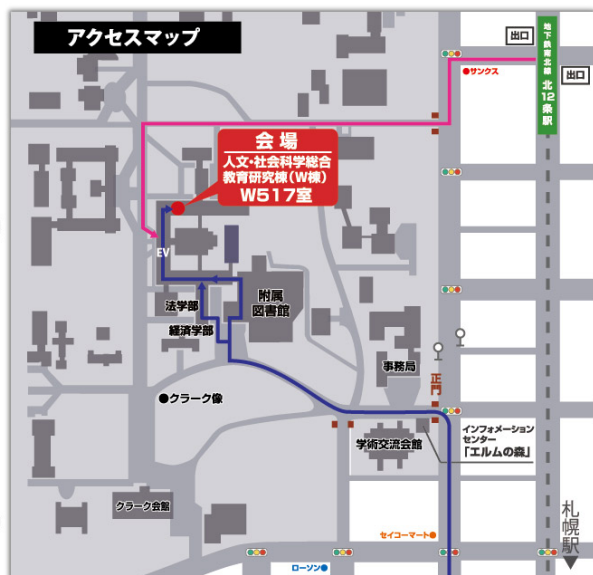
北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)
5階517号室（札幌市北区北10条西7丁目）

お問い合わせ

越野剛（011-706-3791 / gkoshino@slav.hokudai.ac.jp）

*スラブ・ユーラシア研究センターのプロジェクト型共同研究

「社会主義の記憶とノスタルジア：旧ソ連・東欧・中国・ベトナムの比較から」(代表：高山陽子)による研究会です。



駐車場はございません。お車での来学はご遠慮願います。